

平成22年度 長崎市提案型協働事業1次審査結果一覧（応募団体計1団体）

種別		市民提案型		
団体名		NPO法人 新現役の会長崎センター		
事業名		団塊シニア世代セカンドデビュー応援事業		
事業費総額（円）		1,059,000	審査結果	<b>採択</b>
審査項目	配点	各審査項目平均点	審査会コメント	
①	目的の明確性	5	4.3	<p>本事業については、チャレンジ事業としての要素が強い印象を持った。そのため、まずは「将来的な自立による事業継続」か「行政支援による実証実験事業」なのか、予めはっきりとした方向性を定めておく必要があると判断した。ただし、自立を目指すのであれば、当初からフリーペーパーではなく価格設定を行うか、広告収入の目標額についてもある程度見込んでいかなければならない。しかし、この点については、質疑応答において「現時点での団体側の体力不足」や「継続を前提とした今後の方向性を模索する方針」が明らかとなっており、今のところ自立の実現性は乏しいものとする。</p> <p>よって、以下の指摘事項について担当課との協議・調整のうえ改善を行い、2次審査会に臨むことを期待したい。</p> <p>①実証実験が前提であるならば、一旦自立への方針は割り切ったうえで、団体・担当課それぞれの意向を十分に考慮して、協働事業として有効な作成方針・仕様を固め直すこと。</p> <p>②計画では、ターゲットの人口に対して部数が少ないが（10万人⇒1,500部）、協働事業として、どの世代にどの程度配布できるか効果の検証が必要である。部数を増やすのか、普及啓発に力を注ぐのか、どちらにしても確実にターゲットの手に渡るための仕掛けや、アンケート等により読者からの反応を見るための工夫を行うこと。</p> <p>③他のフリーペーパーとの差別化を図り、より多くの読者を取り込むために、明確な社会的意義を持たせた幅広い視点での紙面の作成を行うこと。</p>
②	課題の把握	5	4.3	
③	協働の必要性	10	7.7	
④	協働による相乗効果	10	7.3	
⑤	協働の役割分担	5	3.3	
⑥	事業の企画力及び広域性、他地域への波及効果	10	6.3	
⑦	事業の実施能力	15	10.5	
⑧	事業の計画性	15	11.5	
⑨	事業の継続性、発展性	15	8.5	
⑩	事業への熱意	10	8.3	
合計点（点）		100	72.0	
得点率（％）		100	72.0	